

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	市民の命と暮らしを守るための道路整備・維持管理等による事前防災・減災対策（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	枚方市												
計画の目標	通学路の歩道整備、広域緊急交通路との交差点改良や防災拠点を結ぶ道路整備等を行い、又舗装修繕等による道路構造物の適切な維持管理にも取り組み、事前防災・減災対策等を進めることで安心・安全な交通環境の整備を促進させる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	509	A	509	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	・安心・安全な交通環境に関する満足度割合を30%（平成26年）から32%（平成30年）に増加。 市が実施する市民意識調査の安心・安全な交通環境に関する調査項目により算出。 （交通環境に関する満足度割合）=（市民意識調査：高い～やや高い割合の合計）	30%	31%	32%
2	・車両による施設間のアクセス時間を短縮（枚方市役所から地域防災センター輝きプラザきらら） 枚方市駅（市役所）から地域防災センターきらら間の走行時間を道路整備前と完了後に計測し、短縮時間を算出。 （走行時間の短縮による交通円滑化）=（施設間の走行時間：整備前走行時間 - 整備後走行時間）	11分	10分	10分
3	・自動車走行に起因する騒音や家具等への振動を計測することにより、住環境の改善・良好な都市空間の創出を促す効果を確認する。 振動騒音の数値レベル	48dB	46dB	46dB

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
第4次枚方市総合計画A1～A24								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	岡東山之上東1号線	舗装修繕 L=630m	枚方市						36		-	
	A01-002	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	山之上高田線	舗装修繕 L=620m	枚方市							31		-
	A01-003	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	山之上高田線	舗装修繕 L=620m	枚方市							25		-
	A01-004	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	長尾船橋線	舗装修繕 L=300m	枚方市							20		-
	A01-005	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	牧野長尾線	舗装修繕 L=1830m	枚方市							99		-
	A01-006	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	楠葉中央線	舗装修繕 L=700m	枚方市							36		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	楠葉中央線	舗装修繕 L=700m	枚方市						32	-	
	A01-008	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	中宮津田線	舗装修繕 L=620m	枚方市						8	-	
	A01-009	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	修繕	中宮津田線	舗装修繕 L=1170m	枚方市						82	-	
	A01-010	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	改築	津田駅前第14号線	道路改築 L=130m	枚方市						50	-	
	A01-011	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	改築	津田駅前第18号線	道路改築 L=60m	枚方市						2	-	
	A01-012	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	改築	中宮星ヶ丘線	道路改築 L=60m	枚方市						23	-	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 枚方市土木部の組織にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和2年3月
	公表の方法 枚方市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	舗装のリフレッシュ事業について、振動騒音の数値レベルが低下し静音性の向上が認められた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も継続して老朽化した舗装の修繕を行う。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	交通環境に関する満足度割合		
	最終目標値	32%	本指標については、第4次枚方市総合計画（平成21年度～平成27年度）を効率的・効果的に推進し、適切な進行管理を行うために実施していた市民意識調査の平成25年度の結果を現況値として使用していた。しかし、第5次枚方市総合計画の策定に向け、平成27年度に実施した市民意識調査では、調査項目が新たな施策目標に対する満足度等の調査となり、今後も、新たな施策目標が調査の対象となっているため、本指標の最終実績値を把握することが困難となった。
	最終実績値	%	
2	走行時間の短縮による交通円滑化		
	最終目標値	10分	本指標については、整備計画の期間内に都市計画道路御殿山小倉線の事業が完了することを前提としていたが、当該路線が他の整備計画に移行したこと、また埋蔵文化財調査等に時間を要し、事業完了には至っていないことから、最終実績値の測定が困難となった。
	最終実績値	分	
3	振動騒音の数値レベル		
	最終目標値	46dB	目標達成
	最終実績値	42dB	